

高知県感染症発生動向調査(週報)

2010年第27週〔7月5日～7月11日〕

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>
E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

県内情報

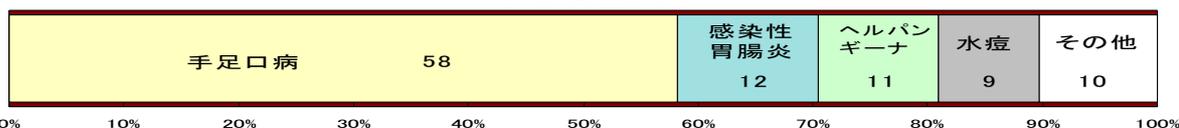
○ 患者情報総評

警報発令疾患：手足口病

注意報発令疾患：ヘルパンギーナ

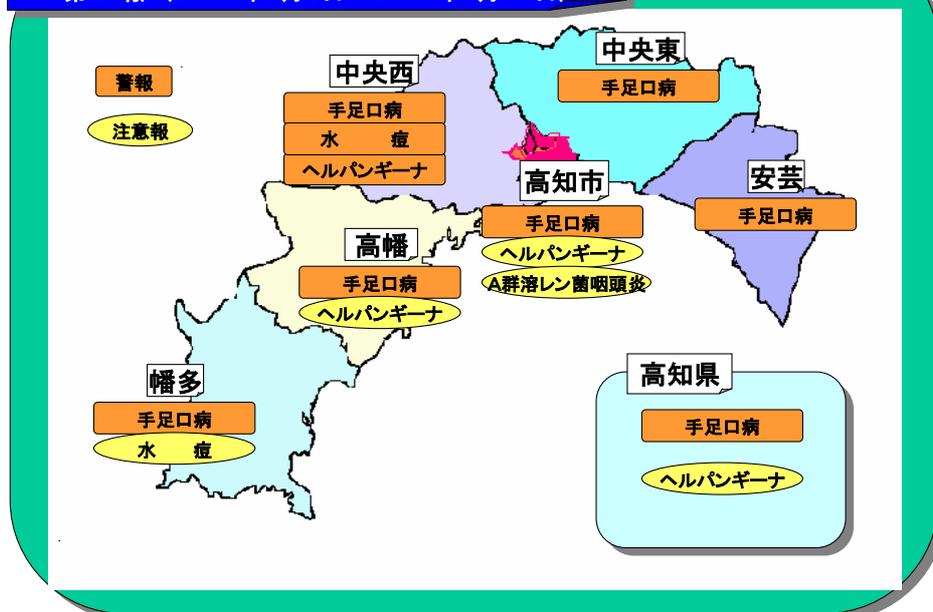
- 曇りの日が多かったが、一時的に雨が激しく降る日もあった。
- 手足口病（高知市：警報→警報，高幡：警報→警報，幡多：警報→警報，中央東：警報→警報，中央西：警報→警報，安芸：警報→警報）は中央東，中央西，高幡で減少したが，その他の地域で増加し，総数はさらに増加した。
- ヘルパンギーナ（中央西：警報→警報，高幡：警報→注意報，高知市：注意報→注意報）は高知市，中央西，高幡で減少し，総数は減少に転じた。
- 水痘（中央西：注意報→警報，幡多：注意報）は中央西と幡多で増加したが，その他の地域で減少した。総数はやや増加したが，例年通りであれば，今後は減少傾向となる。

上位疾患構成図



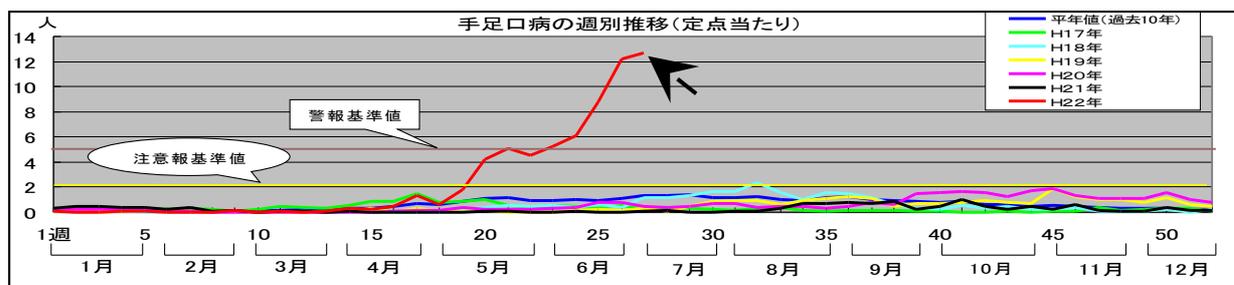
地域別感染症注意報・警報発生状況

第27報（2010年7月5日～2010年7月11日）



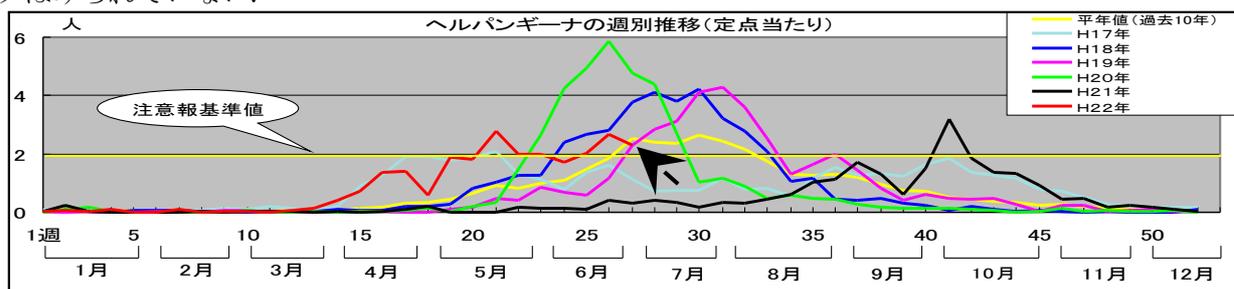
手足口病：今週12.63（注意報値：2.00 警報値：5.00）

減少している地域もあるが，総数はさらに増加した。これまでと比較して増加幅は緩やかで，まもなく流行のピークを迎えると思われるが，警報値を大きく超しており，今後も引き続き警戒が必要である。前週の全国データでは，高知県（12.23）が最も多く，大分県（11.14），山口県（9.18）の順となっている。



ヘルパンギーナ：今週2.30（注意報値：2.00 警報値：4.00）

第21週（2.77）をピークに、その後は減少傾向となったが、第25週には増加に転じ再び注意報値を超した。前週は引き続き増加し推移が注目されたが、今週は減少しており例年のような目立ったピークはみられていない。



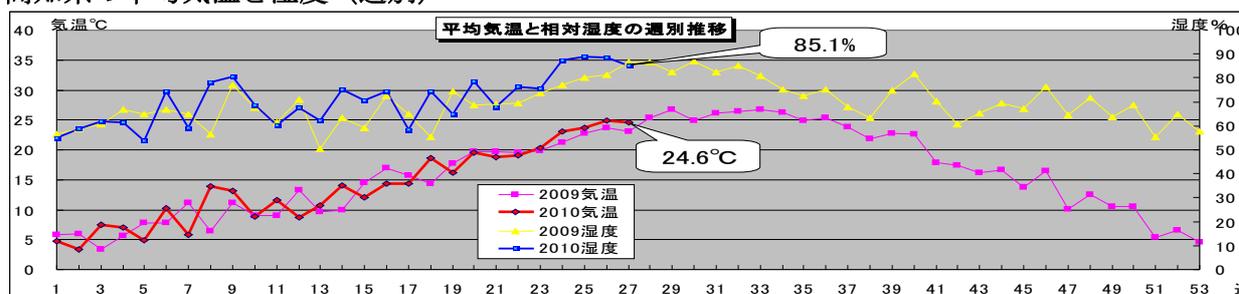
○ **検査情報**

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
27	マイコプラズマ肺炎	6歳女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
25	咽頭結膜熱	3歳女	高幡	Adenovirus 1

○ **全数報告の感染症情報**

2類感染症：結核 3例（83, 88歳女）《高知市》（77歳女）《安芸》（今年79例）

○ **高知県の平均気温と湿度（週別）**



○ **定点からの地域ホット情報**

幡多：

- 《幡多けんみん病院小児科》：手足口病疑い 1例（5歳女）
- 《渭南病院小児科》：アデノウイルス咽頭炎 1例
- 《さたけ小児科》：膿痂疹 8例（1～8歳男女） 口唇ヘルペス 1例（14歳女）
ヘルペス性歯肉口内炎 1例（1歳女）

高幡：

- 《もりはた小児科》：手足口病の流行が続く 帯状疱疹 1例（5歳女）
カンピロバクター腸炎 1例（3歳女）

中央西：

- 《くぼたこどもクリニック》：マイコプラズマ肺炎 2例（9歳女, 11歳男）
感染性胃腸炎の1例（3歳男）は高知市
手足口病の1例（5歳女）はいの町

- 《岡本内科》：マイコプラズマ肺炎 4例（6, 9, 10歳男, 8歳女）

高知市：

- 《細木病院小児科》：（26週）無菌性髄膜炎の1例（3歳女）はEnterovirus 71陽性
- 《福井小児科・内科》：（26週）百日咳の1例（3歳男）は東浜株640倍, 山口株640倍, 予防接種歴あり

《けら小児科・アレルギー科》：カンピロバクター腸炎 1例（65歳女）
アデノウイルス扁桃炎 1例（2歳女）
百日咳の1例（35歳女）は東浜株2560倍、山口株2560倍
《町田病院》：流行性角結膜炎の2例はアデノウイルス陽性

中央東：

《高知大学医学部附属病院小児科》：手足口病の1例（5歳女）は無菌性髄膜炎を発症
《あけぼの小児クリニック》：マイコプラズマ肺炎 1例（9歳女）

全国情報第25週（6/21～6/27）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核336例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症77例（有症者53例、うちHUSなし）

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎7例〔*第22～25週の当該週の報告数は、6～7例で推移している。第10～25週の累積報告数は222例（劇症肝炎6例、うち死亡1例）となり、都道府県別では、福岡県28例、東京都25例、広島県25例、兵庫県17例、埼玉県13例、神奈川県13例、大阪府10例の順に多い。〕、つつが虫病4例、デング熱4例、日本紅斑熱4例、マラリア4例、レジオネラ症10例

5類感染症：アメーバ赤痢8例、ウイルス性肝炎（B型）3例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群11例（AIDS 1例、無症候9例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒7例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例、麻しん10例
報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎2例、オウム病1例、急性脳炎1例、クリプトスポリジウム症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん2例

◆手足口病

手足口病（hand, foot, and mouth disease：HFMD）は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。病原ウイルスは主にコクサッキーウイルスA16（CA16）、エンテロウイルス71（EV71）であり、その他コクサッキーウイルスA6、A9、A10などのエンテロウイルスによって発症する。臨床的特徴であるが、感染から3～5日の潜伏期間の後に、口腔粘膜、手掌、足底や足背などの四肢末端に2～3mmの水疱性発疹が出現する。発熱は約3分の1に認められるが軽度であり、高熱が続くことは通常はない。本症は基本的には数日間のうちに治癒する予後良好の疾患である。しかしながら、まれではあるが髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症などのほか、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を呈することがある。特にEV71に感染した場合は、中枢神経系の合併症を引き起こす割合が高いことが明らかとなってきたため、同ウイルスが流行している期間中は、手足口病発症児の経過を注意深く観察し、合併症に対する警戒を行う必要がある。なお、急性脳炎を合併した場合には、診断した医師は5類感染症全数届出疾患として報告が必要である。

感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染である。乳幼児の集団生活施設である保育施設や幼稚園などでは、日常的に園児同士の濃厚な接触が生じやすく、また大半は衛生観念が未発達な年齢層の者が生活している。従って施設内で手足口病の患者が発生した場合は集団感染が生じやすく、その上病原ウイルスに対する感染が未経験である者の割合が高いことから、感染者の多くが発病し、本疾患の集団発生が多くの施設で観察されているものと推察される。手足口病の感染予防は手洗いの励行と排泄物の適正な処理が基本となる。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて手足口病をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。2010年第25週の手足口病の定点当たり報告数は2.56（報告数7,743）と2週連続で増加し、過去10年間の同時期と比較すると2000年に次いで多い数となっている。都道府県別では大分県（9.67）、山口県（9.12）、高知県（8.77）、福井県（8.00）、宮崎県（5.39）、愛媛県（5.24）、滋賀県（4.97）の順となっている。秋田県、茨城県、鳥取県、宮崎県、沖縄県を除く42都道府県で前週よりも増加がみられており、特に福井県、大分県、高知県、滋賀県で増加が目立っている。

2010年第1～25週までの定点当たり累積報告数は17.70（累積報告数53,588）であり、年齢群別では2～3歳39.0%（20,873）、0～1歳28.4%（15,220）、4～5歳21.5%（11,505）の順となっており、発生報告の中心が5歳以下の乳幼児であることは例年と同様である。

第1～25週までの25週間の手足口病由来ウイルス分離・検出報告数は182件であり、EV71が72.5%（132件）と最多を占め、2004年以降では最も高い割合となっている。

2000年から2009年までの過去10年間において、手足口病の報告数は第28週または第29週に最多となることが多く（第28週が最多の年は5回、第29週3回、第31週1回、第32週1回）、2010年の報告数も、今後夏季の流行のピークに向かって更に増加してくるものと予想される。患者由来検体から検出されるウイルスではEV71が多数を占める状態が続いており、患者発生数の増大と共に、中枢神経系の合併症発生例の増加が懸念される。今後とも手足口病の患者発生動向の推移と、発病者由来検体からのウイルスの検出状況には注意が必要である。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(26週)	高知県(27週未累計) H22/1/4~H22/7/11
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ									173 (0.04)	2,546 (53.04)
小児科	咽頭結膜熱		2	4			1	7 (0.23)	8 (0.27)	1,043 (0.34)	61 (2.03)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	22	2		1	27 (0.90)	32 (1.07)	4,027 (1.33)	596 (19.87)
	感染性胃腸炎	7	3	31	20	1	18	80 (2.67)	83 (2.77)	12,581 (4.15)	6,728 (224.27)
	水痘		11	13	19	2	12	57 (1.90)	54 (1.80)	5,180 (1.71)	1,246 (41.53)
	手足口病	12	59	199	24	26	59	379 (12.63)	367 (12.23)	9,437 (3.11)	1,930 (64.33)
	伝染性紅斑	1	3	6				10 (0.33)	9 (0.30)	2,053 (0.68)	103 (3.43)
	突発性発疹		2	8		2	2	14 (0.47)	22 (0.73)	2,039 (0.67)	321 (10.70)
	百日咳			2				2 (0.07)	5 (0.17)	172 (0.06)	36 (1.20)
	ヘルパンギーナ	3	12	26	13	7	8	69 (2.30)	80 (2.67)	12,601 (4.16)	730 (24.33)
	流行性耳下腺炎						1	1 (0.03)	5 (0.17)	4,060 (1.34)	131 (4.37)
	RSウイルス感染症									186 (0.06)	760 (25.33)
眼科	急性出血性結膜炎									10 (0.01)	2 (0.67)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)		422 (0.62)	34 (11.33)
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 (0.14)	1 (0.14)	13 (0.03)	7 (1.00)
	無菌性髄膜炎									16 (0.03)	7 (1.00)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.14)	2 (0.29)	190 (0.41)	39 (5.57)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			2				2 (0.29)	1 (0.14)	19 (0.04)	13 (1.86)
計 (小児科定点当たり人数)		23 (11.50)	94 (13.43)	317 (28.27)	78 (26.00)	38 (19.00)	102 (20.40)	652 (21.53)			
前週 (小児科定点当たり人数)		28 (14.00)	115 (16.43)	334 (30.00)	72 (24.00)	61 (30.50)	59 (11.80)		669 (22.17)	54,222	15,290 (474.44)

定点当たり

第27週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(26週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ									0.04
小児科	咽頭結膜熱		0.29	0.36			0.20	0.23	0.27	0.34
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	2.00	0.67		0.20	0.90	1.07	1.33
	感染性胃腸炎	3.50	0.43	2.82	6.67	0.50	3.60	2.67	2.77	4.15
	水痘		1.57	1.18	6.33	1.00	2.40	1.90	1.80	1.71
	手足口病	6.00	8.43	18.09	8.00	13.00	11.80	12.63	12.23	3.11
	伝染性紅斑	0.50	0.43	0.55				0.33	0.30	0.68
	突発性発疹		0.29	0.73		1.00	0.40	0.47	0.73	0.67
	百日咳			0.18				0.07	0.17	0.06
	ヘルパンギーナ	1.50	1.71	2.36	4.33	3.50	1.60	2.30	2.67	4.16
	流行性耳下腺炎						0.20	0.03	0.17	1.34
	RSウイルス感染症									0.06
眼科	急性出血性結膜炎									0.01
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.62
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.14	0.14	0.03
	無菌性髄膜炎									0.03
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.29	0.41
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.40				0.29	0.14	0.04
計 (小児科定点当たり人数)		11.50	13.43	28.27	26.00	19.00	20.40	21.53		
前週 (小児科定点当たり人数)		14.00	16.43	30.00	24.00	30.50	11.80		22.17	

2010年週報推移(定点当たり)

